

# 第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/25】

## この試合のプレー集計

### 男子Aリーグ戦

京都府選抜

9

1	—	1
1	—	2
5	—	1
2	—	2

6

福岡県選抜

PSO

御崎 智徳

審判：

縄井 裕平

京都府選抜	19	SH数	20	福岡県選抜
	0	速攻数	0	
	7	ST・SB	9	
	6	SH・P誘発アシスト	2	
	57%	GK阻止率	36%	
	7	EX反則数	4	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

## 【試合の流れ】

決勝トーナメント進出が決定しているチーム同士の対戦で、ブロック1位2位を決める戦い。前年優勝の京都は勝っているもののディフェンスに精彩を欠いており、福岡は粘り強く守って僅差の勝負に持ち込みたいところ。

### 【1P】

センターボールからの福岡の攻撃を何とか京都は防ぎ、序盤のディフェンス対応はまずまずというところ。先制点は福岡。3分以上の攻防が続いた中、わずかの隙をとらえて中央ミドルSHを④大野が決めた。すかさず京都も⑥木村が取り返して、1-1の同点で第1ピリオド終了。点数的には互角の展開だが、京都の攻撃ではイーージーなミスが多く、福岡側としてはそうしたミスをどれだけ突いて優位に立てるかが今後の鍵を握りそうな序盤だ。

### 【2P】

京都はオフense反則からディフェンスで後手を踏み、ペナルティ反則。福岡②井堀が決めて福岡リード。その後も京都の攻撃ミスは続いたが、福岡も攻めきれず、逆に京都は退水を誘発して、⑧宇津木がリバウンドSHで同点。再開後、福岡はセンター⑧勝木がダブルマークされながらも豪快なバックシュートをネットに突き刺して再びリードを奪って、京都2-3福岡で第2ピリオド終了。戦前の予想通り、福岡側としては僅差の展開に持ち込めており、後半はどこまで我慢するディフェンスと京都の攻撃ミスを突けるか。

### 【3P】

福岡の攻撃でのシュートのこぼれ球を京都が拾って、そのまま③園が右サイドから決めて同点。さらに京都は右展開からトップ位置の⑤植村にボールが渡り、マークを掻い潜って決めると、俄然京都ペースに。福岡の退水攻撃を封じ、その後に⑧宇津木が決めて2点差。しかし福岡も④大野が取り返して1点差。京都の攻撃に福岡が耐え切れずにペナルティ。それを決めて再び2点差。さらに京都が福岡ボールを奪取して右サイドを突破し、③園が決めて3点差に広げて第3ピリオド終了(京都7-4福岡)。福岡の攻撃はほとんど全員の足が止まった状態になることが多く、京都側が動いてボールに絡んで奪うという場面が続出。逆に序盤には多く出現した京都側のパスミスなどが消え、一気に京都ペースとなった第3ピリオドであった。

### 【4P】

最終ピリオド、福岡は懸命に守り、攻め上がって右45°から⑥松尾が決めて2点差に詰めたが、直後に京都③園がこの試合3点目をマークして再び3点差。福岡が退水を誘発して、勝負のタイムアウト。しかし、退水ゾーンでの動きがなく、単純な外周シュートは簡単に防がれてしまい、逆に京都に右サイドを泳がれて失点(⑧宇津木の得点)。ここで4点差。福岡は京都の退水攻撃を防いで、左45°から③中尾が決めて3点差に迫り、最後も退水を誘発して攻撃するも時間切れ。京都9-6福岡で、京都がブロック1位となった。

福岡は前半はゲームプラン通りの展開ができたが、第3ピリオドでの攻撃で動きが止まってしまい、そこを京都がしっかり守ってからの泳ぎに屈した形。京都は予選リーグ3試合目で、ようやく本来のディフェンスができるようになったことから、決勝トーナメントでの上位進出にも明るい見通しがついた。